

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 東住吉区

学 校 名 北田辺小学校

学校長名 桐山佳晃

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・北田辺小学校では、第6学年 68名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数ともに、平均正答率は全国を上回っている。（国語4.8ポイント、算数3.5ポイント）。

自ら学ぶ子の育成に向け、主体的な学びを追求し、校内研究を中心とした教科研究や習熟度別少人数学習の取組や教科専科制による成果と考えられる。

児童質問紙において、国語・算数・英語について、「好きである」と答えた児童が多い。「議論できる学級」における授業実践を通して主体的な追求活動を実践できている。しかしながら、個別的な課題を残す児童も多いので、きめ細やかな指導を今後も根気強く継続することが肝要である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

領域別で見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて全国を上回っている。特に、「書くこと」は39.02%で、全国を12.3%上回っている。

〔算数〕

領域別で見ると、「A数と計算」「C変化と関係」「Dデータの活用」は、全国比を上回り、バランスの良い結果が出ている。しかし、「B図形」は44.9%と全国を3.3%下回っている。

質問紙調査より

自ら学ぶ子の育成に向け、①主体的な学び、②たくましい体、③思いやりの心、について考察する。

①「国語は好き」「算数は好き」「英語は好き」に対して肯定的な回答は68.2%・65.1%、77.34%、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「友だちと協力話し合い、自分の考えを深めたり、広げたりできる」に対して肯定的な回答は、74.2%・86.4%と主体性が育っている。

②「毎日、朝食を食べている」「毎日、同じ時刻に寝ている」「毎日、同じ時刻に起きている」に対して肯定的な回答は86.4%・87.9%・89.4%と高く、基本的な生活習慣が確立できている。

③「将来の夢や目標をもっている」「困っている人を助けたい」「いじめはどんな理由があっても許せない」に対して肯定的な回答は、87.9%・96.9%・95.4%と高い。また、「自分には良いところがある」に対して肯定的な回答は84.8%と自尊感情の高まりがみられる。

今後の取組(アクションプラン)

- ・「議論できる学級」を学級経営の基盤とし、あらゆる機会を通して、自分の考えを表出させ、受け入れられる学びの集団を形成する。
- ・習熟度別少人数学習を取り入れる単元を精選し、文章を読み取る力をつけるため、自分の考えを正確に記述できるよう学習活動を工夫する。また、学習の中に、自分の考えを相手に正しく伝える場面を取り入れる。
- ・学習したことが他の教科でも役立つことや、生活の中で活用できることを実感できるような体験的な学習活動を工夫する。「ふりかえり」を大切にし、自分の思いや考えを書く時間を保障していく。
- ・メンターメンティ研修や校内研究を通して、国語科の教科指導の授業力を高める。

【 全体の概要 】

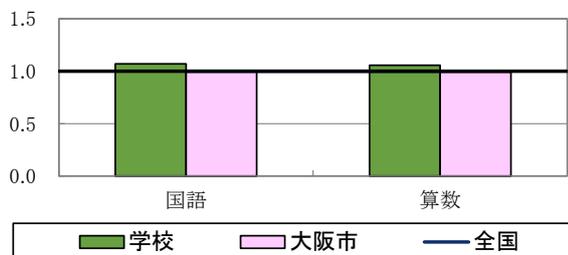
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	72	66
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

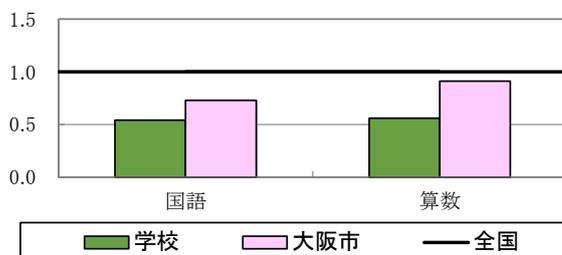
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.6	1.9
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



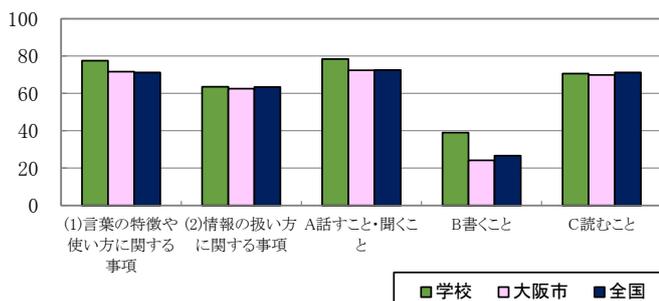
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	5	77.6	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	63.6	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	78.5	72.4	72.6
B 書くこと	1	39.0	24.2	26.7
C 読むこと	3	70.6	69.9	71.2

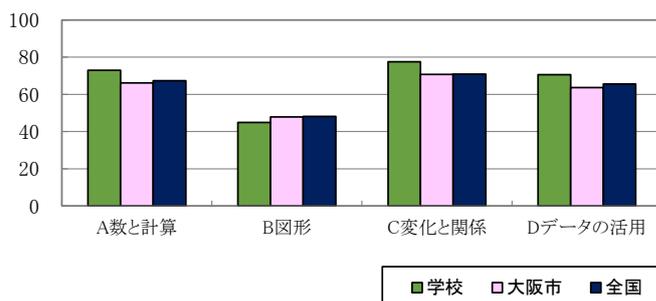
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	72.9	66.1	67.3
B 図形	4	44.9	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	77.5	70.8	70.9
D データの活用	3	70.6	63.6	65.5

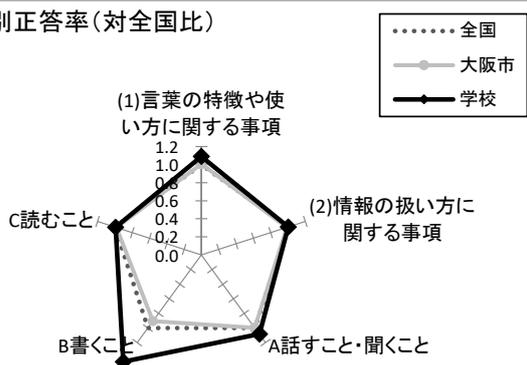
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



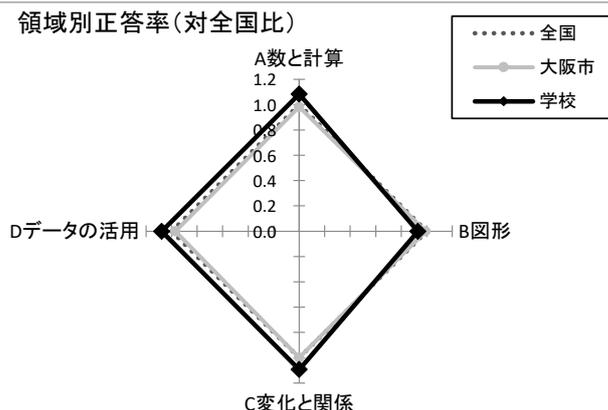
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



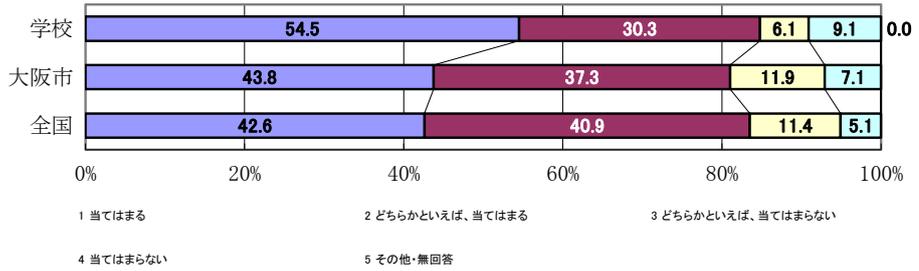
算数 領域別正答率(対全国比)



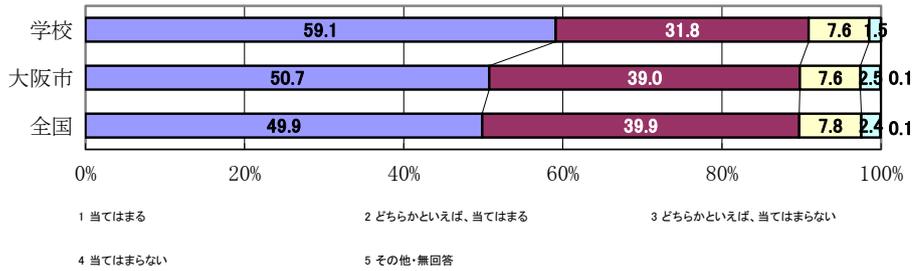
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

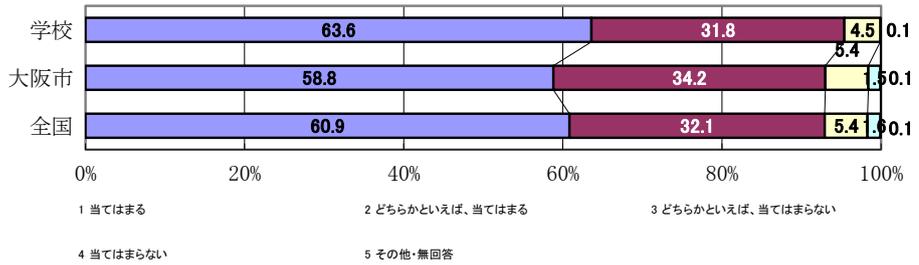
質問番号
質問事項
4
自分には、よいところがあると思う



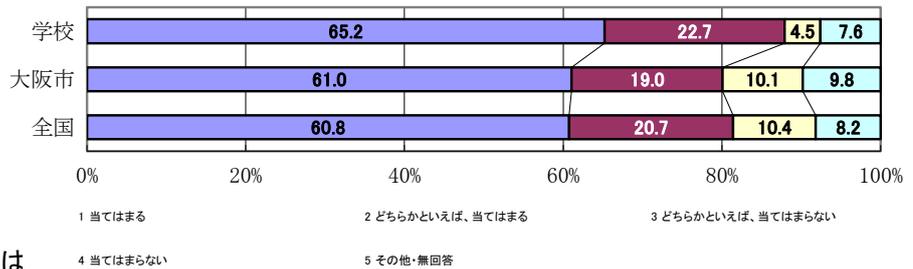
5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



6
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う

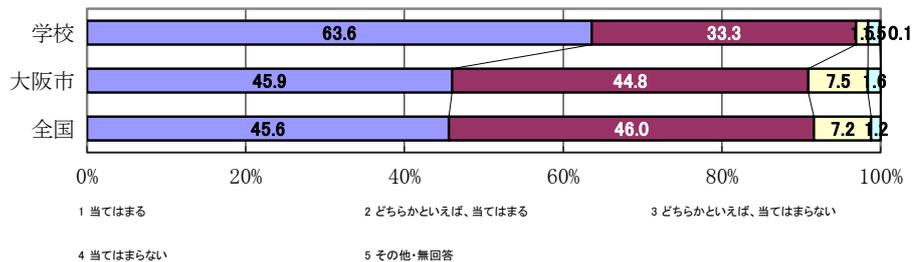


7
将来の夢や目標を持っている



国語・算数ともに、平均正答率は

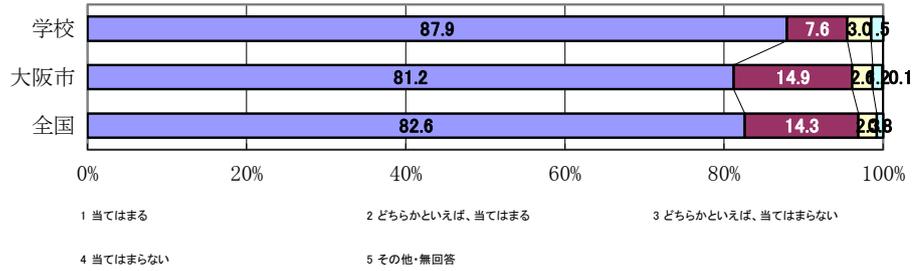
8
人が困っているときは、進んで助けている



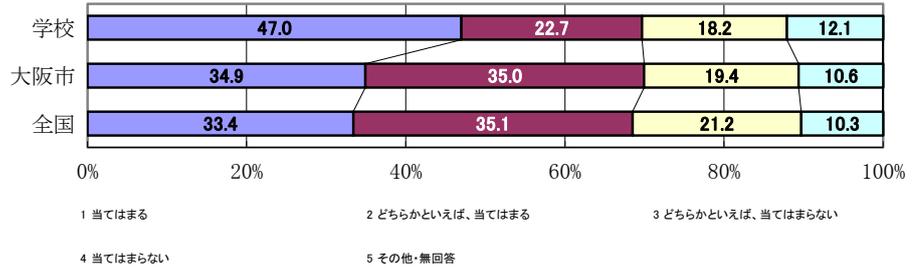
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

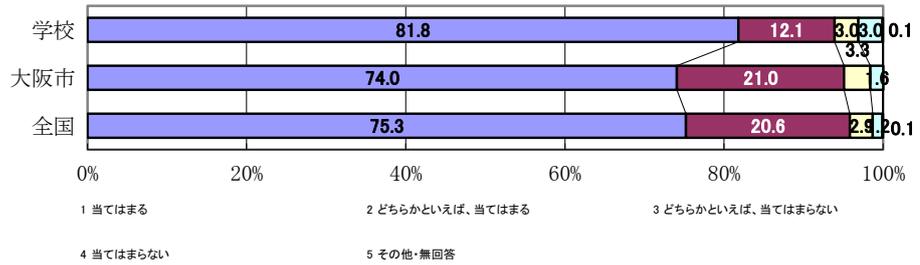
質問番号
質問事項
9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



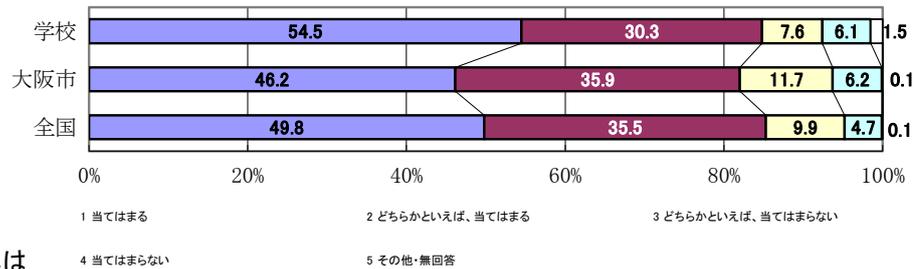
10
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



11
人の役に立つ人間になりたいと思う

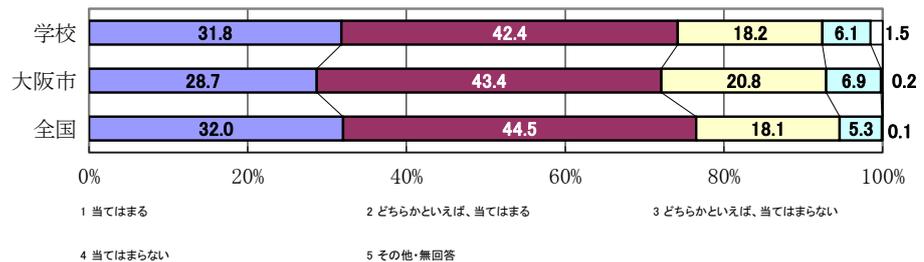


12
学校に行くのは楽しいと思う



国語・算数ともに、平均正答率は

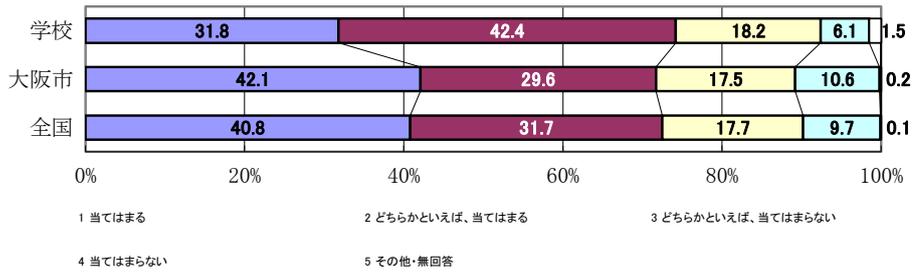
13
自分と違う意見について考えるのは楽しい



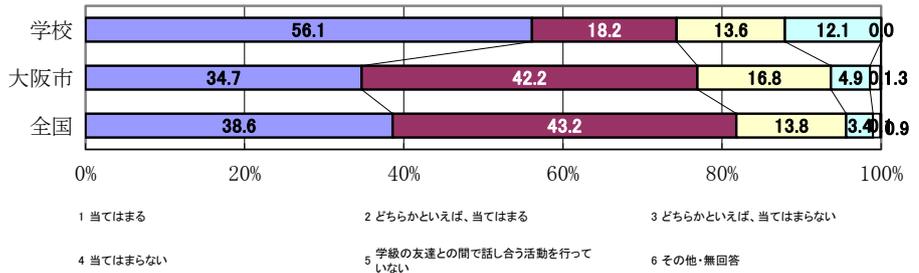
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

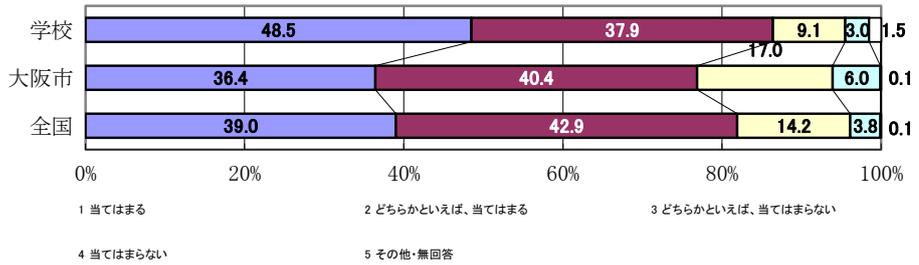
質問番号
質問事項
27
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたいと思う



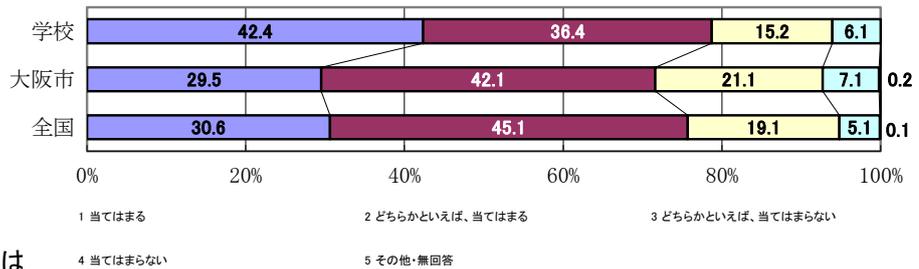
36
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



38
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている

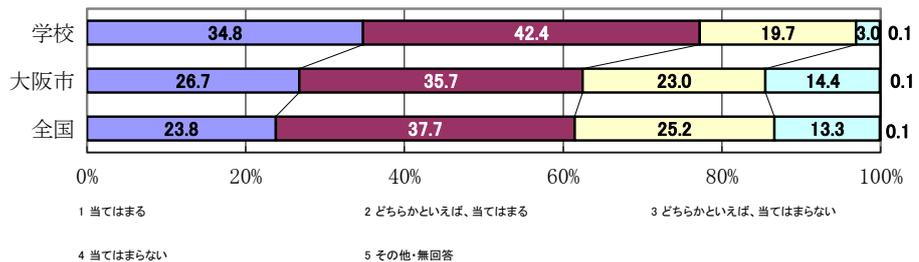


41
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる



国語・算数ともに、平均正答率は

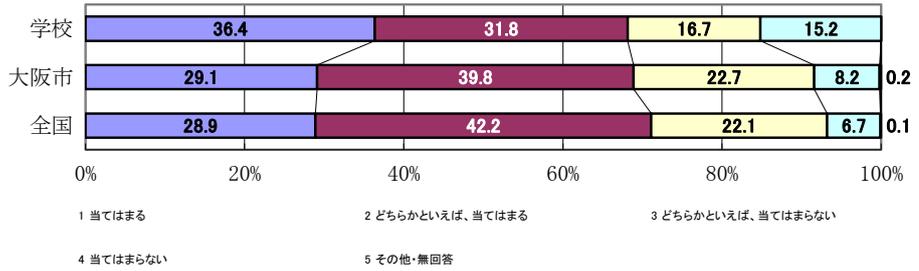
43
国語の勉強は好きだ



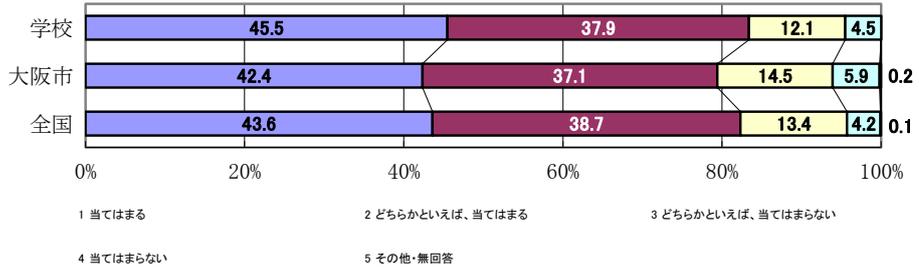
児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

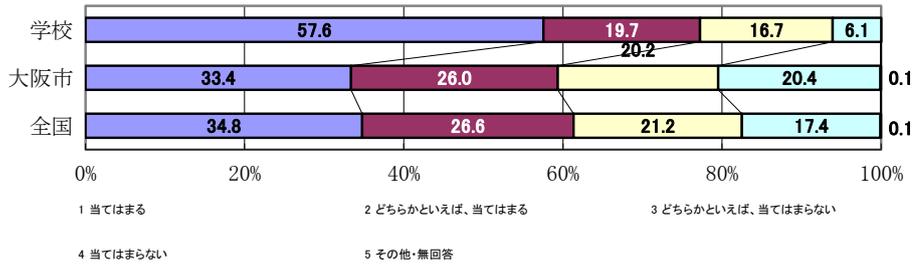
質問番号
質問事項
49
国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている



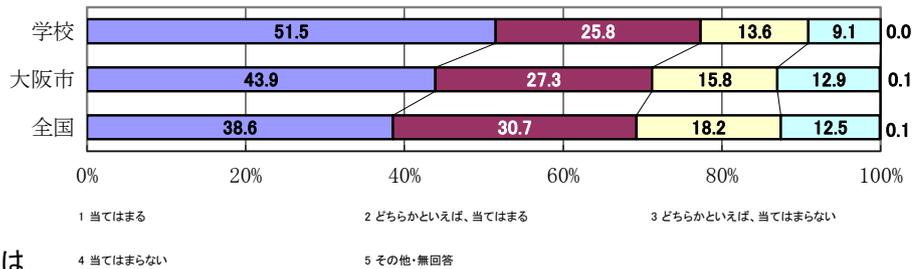
50
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している



51
算数の勉強は好きだ

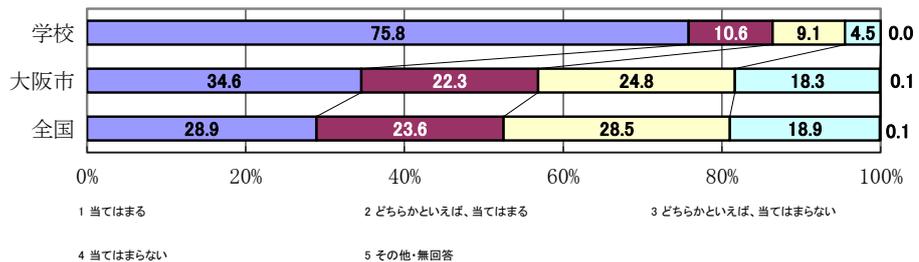


55
英語の勉強は好きだ



国語・算数ともに、平均正答率は

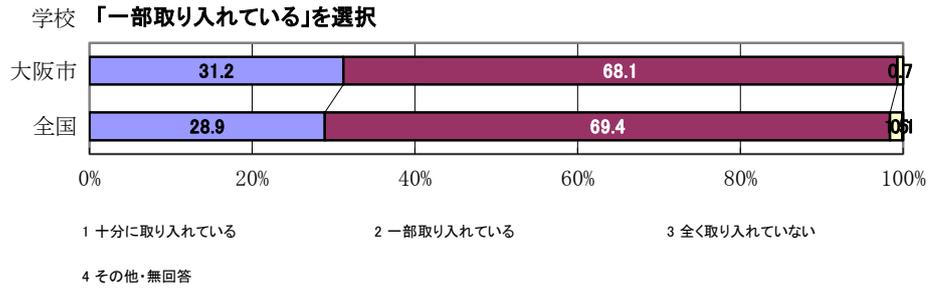
57
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う



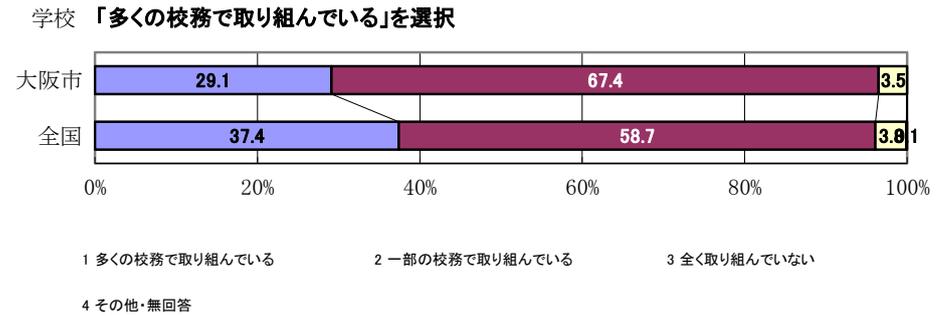
学校質問紙より



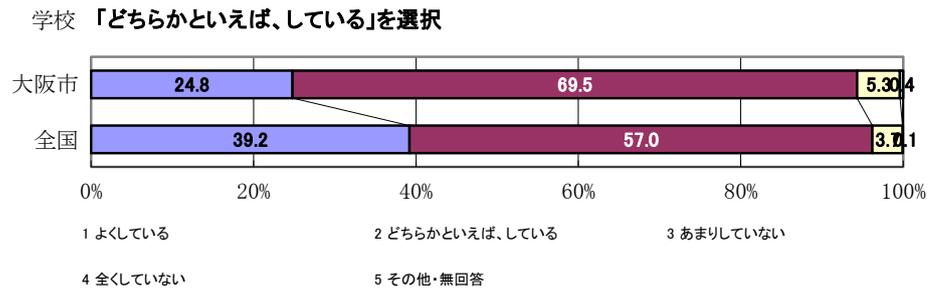
質問番号
質問事項
16
ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか



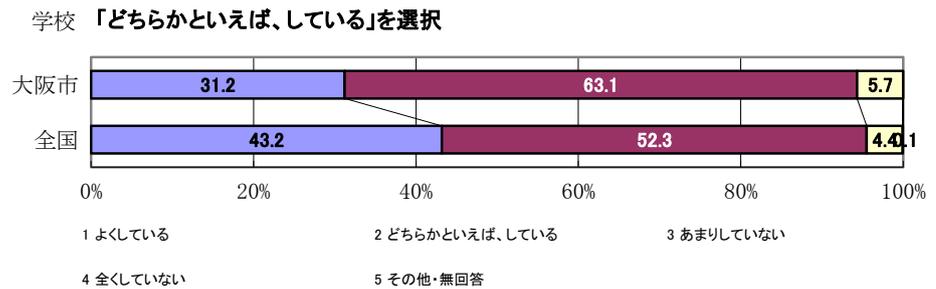
17
ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか。



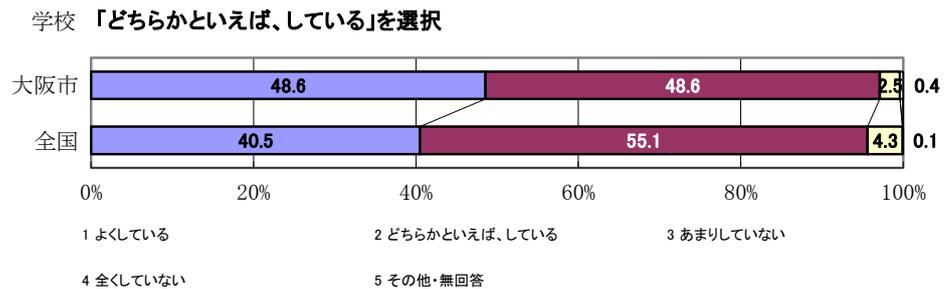
19
児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



20
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている



21
言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる

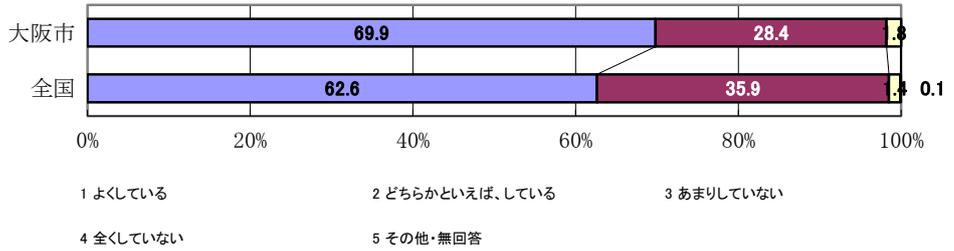


学校質問紙より



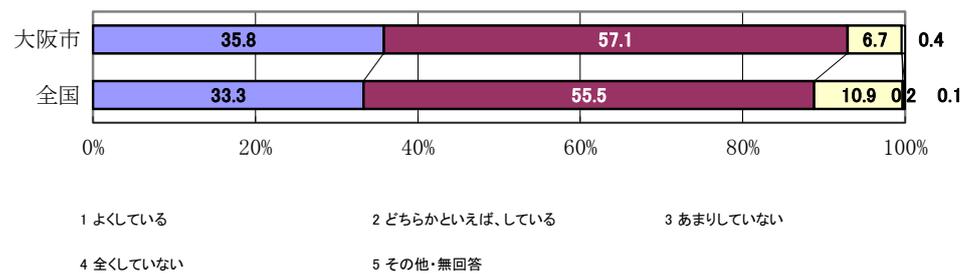
質問番号
質問事項
22
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

学校 「どちらかといえば、している」を選択



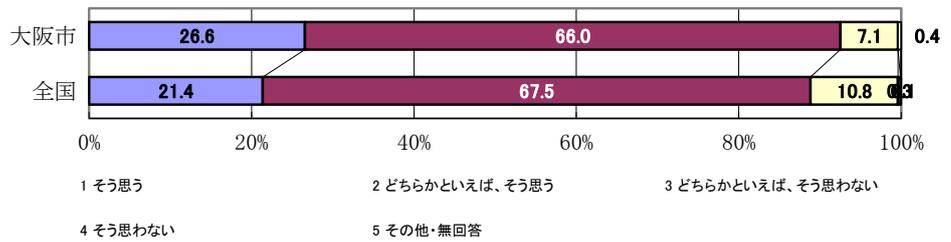
23
児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている

学校 「どちらかといえば、している」を選択



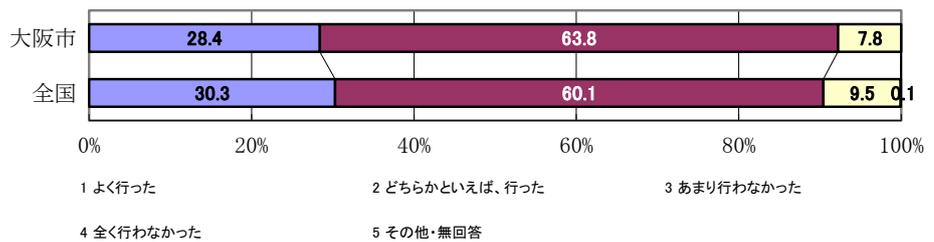
26
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



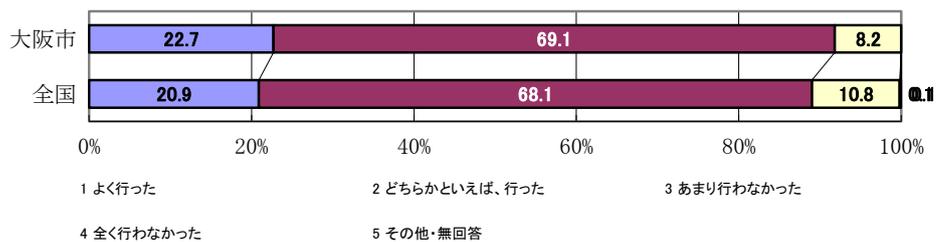
33
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



34
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

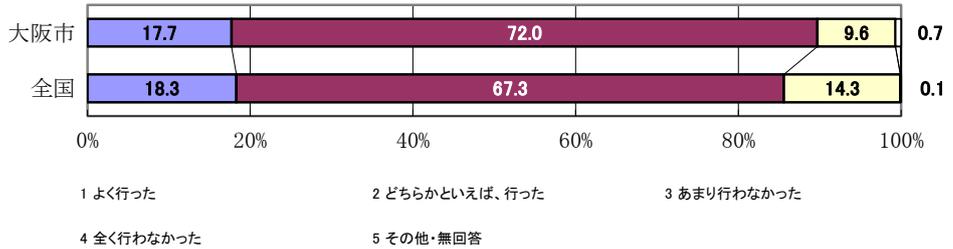
質問番号

質問事項

35

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた

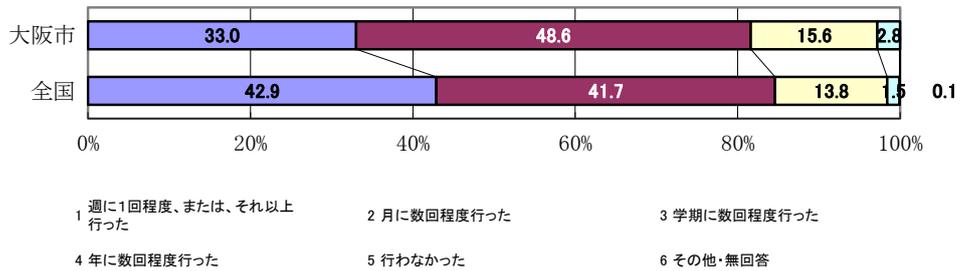
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



36

調査対象である第6学年の児童に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。

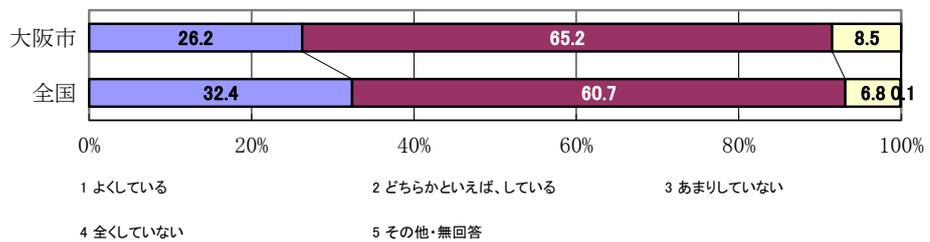
学校 「月に数回程度行った」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っている

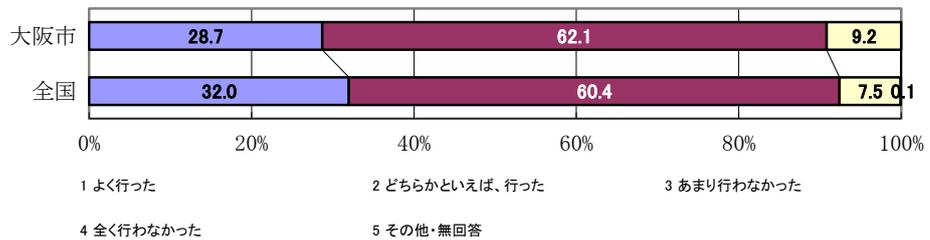
学校 「どちらかといえば、している」を選択



44

調査対象学年の児童に対する国語の指導授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導をどの程度行いましたか。

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



55

調査対象である第6学年の児童に対する、前年度までのICT機器の活用状況として、あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週3回以上」を選択

